



投資環境

2025年3月26日

今後の日本株の見通し

3月25日の東京市場では、日経平均株価が一時3万8千円台を回復するなど、足元の日本株は値を戻す動きになっています(図表1)。背景には、ドル円が150円台まで円安方向に推移していることや、トランプ米大統領が4月2日からの実施を予定している関税引き上げの対象を絞り込む可能性を示唆したことなどがあるとみられます。ここでは、今後の日本株の見通しについてまとめたいと思います。

図表1. 日経平均株価



■ 4月は荒れた動きになる可能性、再び調整する恐れも

トランプ米大統領は24日、4月2日に発表を予定している相手国と同率の関税をかける「相互関税」について、「多くの国に小休止を与えるかもしれない」と述べ、対象国を絞り込む可能性を示唆しました。この発言を株式市場は好感していますが、実際の対象国が日本を含む幅広い国になると、株式市場は嫌気することが予想されます。また同大統領は、自動車に対する関税引き上げについて、数日中に詳細を明らかにする意向を示しているほか、半導体・医薬品・農産品に対する関税を引き上げる方針を示しています。加えて、EUに対する関税を引き上げる意向も示しています。以上のように、詳細が明らかになっていない関税政策が複数あり、今後発表される関税の内容を受けて、日本株は荒れた動きになる可能性があります。

また、関税政策に加えて、トランプ政権が実施している政府職員の解雇などの歳出削減策が米国の経済や物価に与える影響も懸念されます。今後発表される米雇用統計や米消費者物価指数で雇用の軟化やインフレ率の上振れが示されると、日本株を下押しする恐れがあります。足元、やや投資家心理が改善し、株価は回復していますが、再び調整色が強まる恐れもあり、警戒が必要です。



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

▣ 年末に向けての見通し

短期的には、日本株は調整する恐れがありますが、年末に向けて徐々に回復することが予想されます。

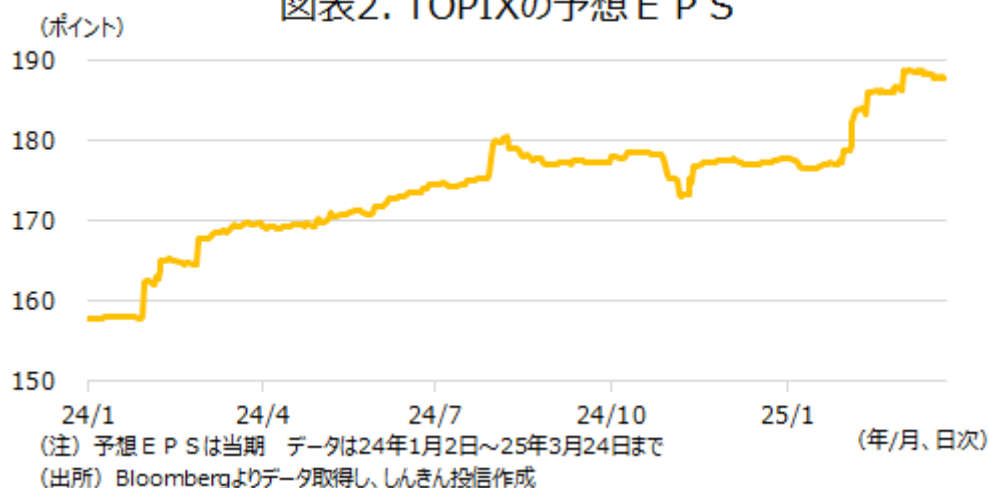
第一に、国内企業の業績が改善していることです。TOPIX の予想一株当たり利益（EPS）は、緩やかに改善しています（図表 2）。足元は、トランプ政権の関税政策が業績の重しになるとの見方などから伸び悩んでいますが、今後の国内企業の決算の内容が良好であれば、予想 EPS は上昇し、株価を押し上げる可能性があります。

第二に、事業法人による自社株買いとみられる資金流入が増加していることです。2024 年の事業法人による資金流入額は約 8 兆円と前年を大きく上回る水準でした（図表 3）。2025 年初から直近の 3 月 14 日までの資金流入額はすでに 2 兆円となっており、昨年の同時期と比べて大幅に増加しています。年間を通じた資金流入額は昨年を上回る可能性があり、日本株の追い風になることが期待できます

第三に、海外投資家の売りが一服する可能性があることです。海外投資家は年初から先物で約 3 兆円、日本株を売り越しています（図表 4）。これは、昨年 1 年間の累計（約 4 兆円）に迫る水準です（図表 5）。そのため、今後同じペースで海外投資家が日本株を売り続ける展開は想定しづらく、海外投資家の売り圧力が弱まることが期待されます。仮に、海外投資家の資金流入が買い越しに転じれば、株価は大きく上昇する可能性もあります。

年末に向けて日本株は、トランプ政権の関税政策や日銀の金融政策、国内の政治動向の影響を受けて値動きが激しくなる場面も想定されますが、国内企業の業績改善や株式市場の需給改善を支えに、徐々に上値を拓く展開が見込まれます。

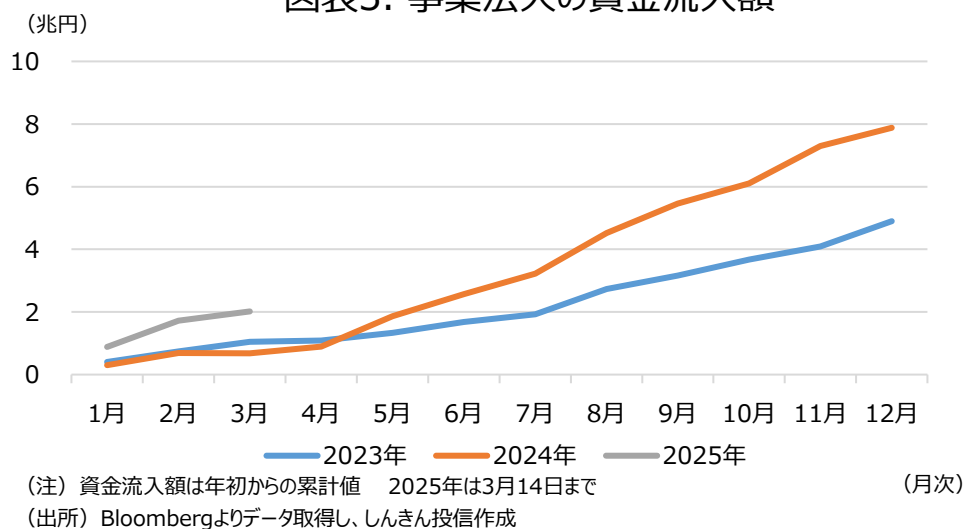
図表2. TOPIXの予想EPS





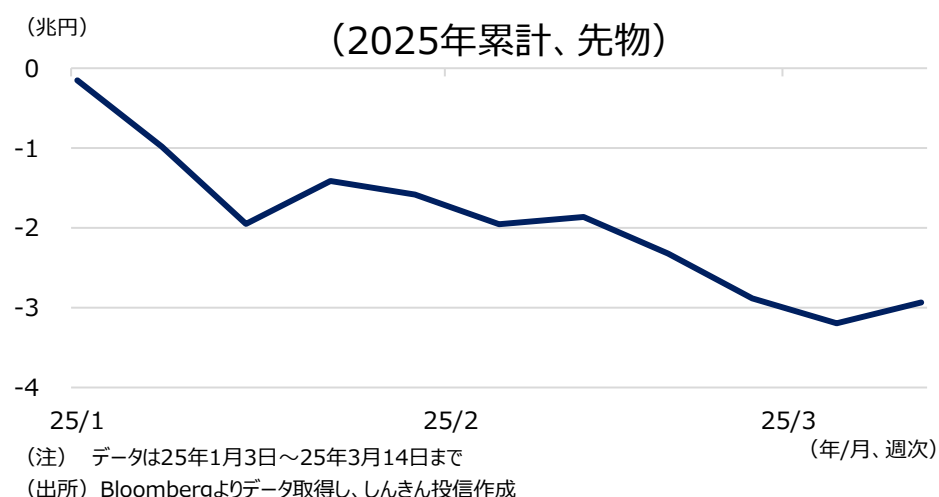
しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

図表3. 事業法人の資金流入額



図表4. 海外投資家の資金流入額

(2025年累計、先物)



図表5. 海外投資家の資金流入額

(2024年累計、先物)



(ストラテジスト 澤村一樹)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。

※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 上限 0.3%

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。